

事務事業 No./名称	■サービス部門 市民ー28 □支援部門		各種スポーツ行事事業				
主管課	スポーツ課	関連課					
分野名	スポーツ・レクリエーション						
目標 (目標値)	スポーツ活動の普及を図る。 市民のスポーツ実施率を60%にする。						
人口等のデータ	データ区分	23年度	22年度	21年度	備考 ・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	人口	177,204人	177,161人	176,669人			
	世帯数	79,217世帯	78,812世帯	78,131世帯			
運営資源状況	事業の対象者数						
	決算値(千円)	8,176	8,528	10,802			
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	8,176	8,528	10,802			
	人員配置数	1.0	1.0	1.2			
	人件費(千円)	8,711	8,821	10,730			
事務事業運営経費	協働のパートナー						
	総事業費(千円)	16,887	17,349	21,532			
	市民1人当りの経費(円)	95	98	122			
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	対象者1人当りの経費(円)						
	団体名⇒						
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)
委託料(円)	◎	目標値	9,000,000	9,000,000	9,000,000	9,000,000	9,000,000
		実績値	8,639,710	6,726,194	6,341,000		

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H23決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止
各種スポーツ行事事業	8,176千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒	■A □B □C □D □E	
	事業の概要	あらゆる市民を対象とした各種スポーツ教室やイベントを実施する。			
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒	□A □B □C □D □E	
	事業の概要				
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒	□A □B □C □D □E	
	事業の概要				
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒	□A □B □C □D □E	
	事業の概要				

事務事業の課題及び取組状況

H23年度の課題	高齢者を対象にした健康体操等は、気軽に参加でき、継続しやすいよう、地域ごとに少人数の教室を開催しているが、需要が高く年々派遣する講師の確保が難しくなっている。
課題解決のための取組	スポーツリーダー養成講座の開催や高齢者福祉課と連携するなどにより、講師の確保に努めた。 スポーツリーダーを養成することによって、地域で活動している団体に講師の紹介、派遣ができた。
未解決の課題	厳しい財政状況の中、費用対効果の更なる向上を図る。

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	今後の方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	※□事業完了
			様々なイベント、教室等を行っているが、各協会やスポーツ推進委員、地区スポーツ振興会など地域との連携を図りながら、今後とも市民のスポーツ実施率の向上を目指す。	↓ A	課長等名 スポーツ課長 田中 良一

